

非閉塞性腸管虚血（NOMI）に対する予後因子の検討

1. 研究の対象

2012年5月～2020年12月に非閉塞性腸管虚血（NOMI）にて手術を受けた方

2. 研究目的・方法

非閉塞性腸間膜虚血は、心疾患、動脈硬化、脳血管障害、糖尿病など併存疾患を有する方が発症することが多く、腸管の血管攣縮が発症の原因と考えられている死亡率の高い疾患です。

一方、重症度を客観的に評価する指標として、Charlson Comorbidity index、急性期DIC基準など複数のスコアリングシステムが存在し、各スコアリングシステムの構成要素には、検査データ値、理学所見、併存疾患などが含まれています。今回、非閉塞性腸間膜虚血にて手術を行った方を生存退院群と在院死亡群に分け、術前スコアと予後との関連を比較し、各種スコアリングシステムの予後因子としての有用性を検討する。

当院では診療記録から必要な情報を取得します。この研究のために、患者さんに追加の検査やアンケート等をお願いすることはありません。

3. 実施期間

2021年1月22日～2021年7月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

検査データ値、理学所見、併存疾患など

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、診療情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および 研究への利用を拒否する場合の 連絡先	済生会熊本病院 外科 研究責任者 清水健次 (住所)熊本市南区近見5丁目3番1号 (電話番号) 096-351-8000 (病院代表)
---------------------------------	---

以上